

# 池袋 井戸尻考古館

## 井戸尻考古館 見学案内

井戸尻考古館は、八ヶ岳山麓を舞台に生活した縄文時代（約 8000～2300 年前）の生活文化を復元して、現代生活の向上に資することを目的とした施設です。

館内には、今までに発掘調査して出土した資料のうち、二千点余りの土器や石器を年代順に並べ、移り変わりや用途を知ることができます。また、住居展示や食物・装身具・衣類なども併せて展示し、一見すればわかるように努めています。また、土器や土偶など文様解説で明らかになった当時の宗教観念や世界観・神話などを解説しています。

館外には、5300 平方メートルの敷地に炉址・配石遺構のほか、栽培作物圃場・石器材料岩石園を設け、当時の食生活や農具の究明を行っています。また、史跡井戸尻には復元家屋が建ち、涸れることのない湧水の音に耳を傾けると、少しのあいだ縄文の世界に浸ることができます。

- 開館時間：午前 9 時～午後 5 時
- 休館日：月曜日・祝日の翌日・年末年始  
(祝日は開館します。祝日が月曜日の場合は開館、その翌日が休館となりますので、ご了承下さい。)

入館料	一般	団体
大人(高校生以上)	300円	240円
小人(小・中学生)	150円	120円

